

平成 24 年 10 月 22 日

## 広島大学長表彰について

広島大学では、平成 14 年度に「学長表彰制度」を設け、教育・研究や社会貢献などで特色ある顕著な業績を挙げ、広島大学の発展に貢献した本学教職員や団体および学外の個人や団体に対して毎年 11 月に顕彰を行っています。

平成 24 年度の被表彰者として被表彰者一覧のとおり学内外の 10 件、12 名を決定しました。

なお、授与式は、平成 24 年 11 月 28 日（水）11：00～の予定です。

### 【表彰の対象】

1. 社会活動に関するもの  
人命救助、犯罪防止、災害防止、ボランティア活動 など
2. 教育研究活動に関するもの  
教育、教育方法の改善等、学生生活支援等、研究 など
3. 課外活動の振興に関するもの  
課外活動の振興のための支援等 など
4. 医療活動に関するもの  
医療、疾病の予防のための措置 など
5. 教育研究等支援活動に関するもの  
職務の能率増進に係る発明・考案等、キャンパスの施設整備等の整備・環境保全等、安全管理 など
6. 大学改革の増進等に関するもの  
大学改革の推進に係る積極的な提案等、社会との連携等、業務運営の改善・効率化、財務内容の改善、点検・評価の充実、情報提供の推進等 など

### 【お問い合わせ先】

財務・総務室  
サービスグループ 真田 和浩、濱尾 香代  
TEL:082-424-6024、4404 FAX:082-424-6080

平成24年度広島大学長表彰被表彰者一覧

○個人12名（学内11名、学外1名）

平成24年10月19日現在

所属（団体）	職名	氏名（代表者）	表彰該当基準	概要
（有）KRT	代表取締役	岡村 有人	社会活動	両親と祖父母の被爆体験を「七つの川は銀河に届け」 「May Seven Rivers of Hiroshima reach the Galaxy」というエッセイに著され、英語版はImperial War Museumに収蔵され、世界に向け類のない強力な平和希求情報を発信されるなど、本学出身者として、本学の発展に顕著な貢献をされました。
宇宙科学センター	准教授	植村 誠	教育研究活動	かなた望遠鏡を駆使した光赤外観測、および、X線γ線との多波長連携研究によって、激変星からγ線バーストに至るまで多様な突発天体の構造と放射機構を明らかにされ、ゼルドビッチメダルを受賞されるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院総合科学研究科	准教授	隠岐 さや香	教育研究活動	実証的内容を有する研究に止まらず、新鮮かつ普遍的な視点から、フランスの科学アカデミーを分析した「科学アカデミーと有用な科学」を著され、科学史のみならず、歴史学分野においても高く評価され、第33回サントリー学芸賞を受賞されるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院教育学研究科	教授	落合 俊郎	教育研究活動 及び 大学改革の推進	発達障害、知的障害を中心とした児童生徒に対する学校教育場面における支援システムの構築、韓国センター設立等の国際交流、教育行政や地域と大学との連携および研究の推進、「広島大学型」障害者雇用の創設など、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院先端物質科学研究科	教授 特任助教	黒田 章夫 石田 文典	教育研究活動	アスベストに選択的に結合するタンパク質を発見され、そのタンパク質を蛍光物質で修飾することにより、アスベストを可視化する技術を作り出され、アスベスト繊維の検出を容易にされました。これにより、文部科学大臣表彰を受賞されるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院医歯薬保健学研究院	助教 教授	齋藤 敦 今泉 和則	教育研究活動	小胞体ストレスセンサーOASISが、中枢神経系細胞のひとつであるアストロサイトの発生・分化に不可欠であることを発見された成果をNature Communications誌に公表され、国内外において高い評価を得られるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院医歯薬保健学研究院	教授	高田 隆	大学改革の推進	本学歯学部をアジアの歯科医学・口腔健康科学の教育研究国際拠点と位置づけ、2カ国語教育を行う国際歯学コースの設立に尽力されました。また、inter-professional educationの推進・発展に努められ、全国初の多職種教育を導入するなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
病院	看護部長	竹光 三枝子	医療活動	看護配置基準7対1への対応、クラークグループの設置など、本学病院運営に関し、数多くの企画、立案、実現に尽力されるだけでなく、認定看護管理者制度ファーストレベル課程を実施し、地域の看護水準の維持、向上に寄与されるなど、本学及び医療分野の発展に顕著な貢献をされました。
大学院医歯薬保健学研究院	特任准教授	東川 史子	教育研究活動	植物由来の乳酸菌が、動物由来に比べて便秘解消の効果が優れ、肝機能を改善する可能性があることを人への臨床試験で明らかにされ、Nutrition誌に公表され、The 14th John M. Kinney Award for General Nutritionを受賞されるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
放射光科学研究センター	助教	宮本 幸治	教育研究活動	放射光を用いた最先端の光電子分光装置を用いて、トポロジカル絶縁体と呼ばれる新物質の性質解明に学術的意義の高い展開をもたらされました。これにより、本学の共同利用・共同研究拠点の機能強化に大きく貢献されるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。